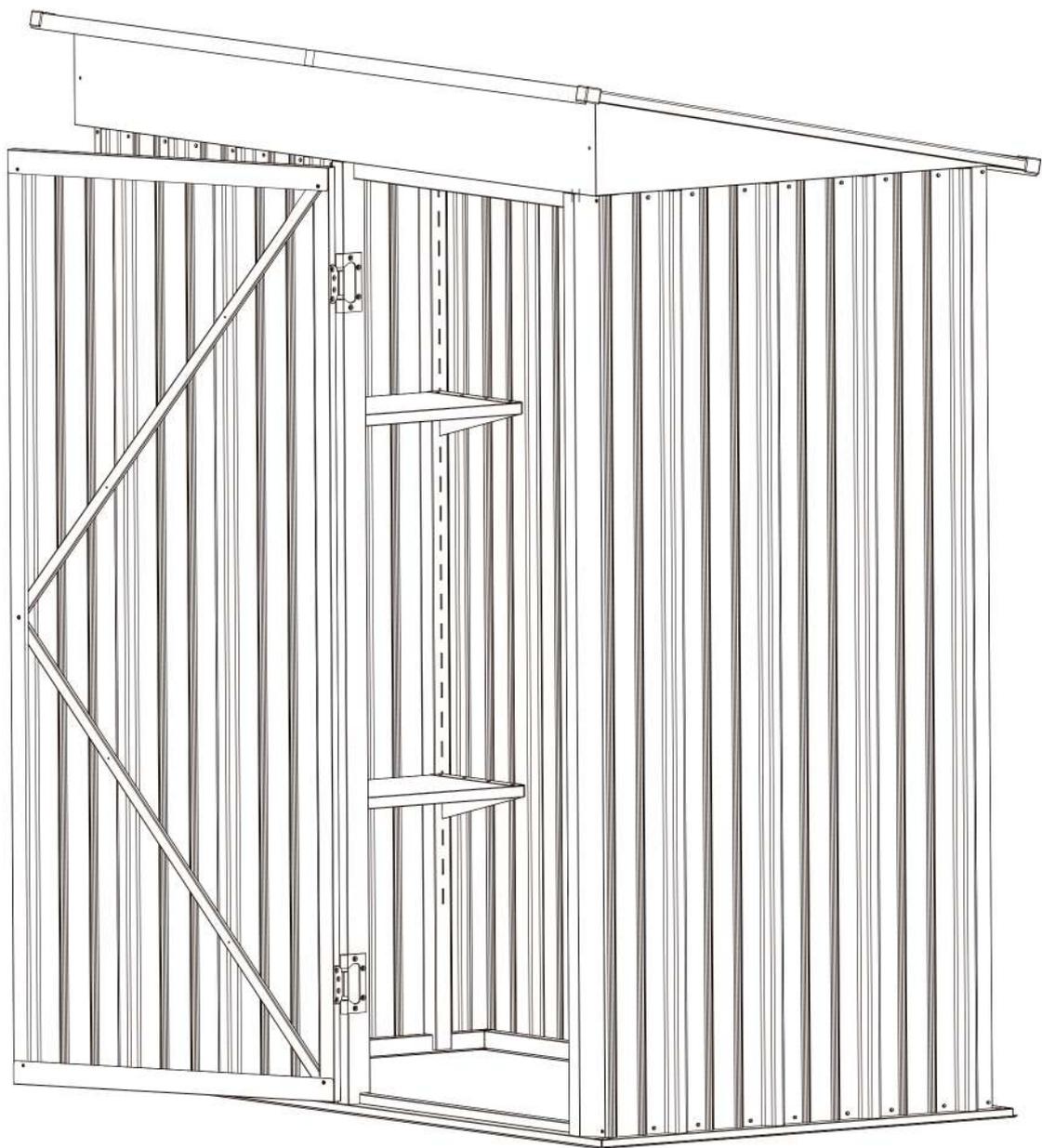


取扱説明書

大型物置き 5×3FT

WF314378



この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みの上、正しい使い方で末長くご愛用下さい。なお、この説明書はいつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。

目次

はじめに 3

組み立て前によくお読み下さい 3

安全にお使いいただくために 4

組み立てについて 6

分解図 7

梱包内容 8

組立方法 9

保証規定 22

はじめに

このたびは物置きをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。

この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。

また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

お求めいただきました物置きは当社の厳重な品質管理の下に生産されています。しかし、運送中の振動などで製品に緩み等が生じる恐れがあります。物置きをお受け取りになるときに点検済みか確認してください。同時に、取扱説明書をお受け取りになり、大切に保管してください。お子様のご使用につきましては、保護者の方が必ずお読みいただきご指導ください。

組み立て前によくお読み下さい

■ここに記載してある内容は、物置きを安全にご使用いただく上で、重要なことを述べています。必ずお読みになり、正しくお使いいただくようお願い申し上げます。

■ここに記載してある内容をお守りにならなかった場合、お客様がケガをするなどの重大な人的損害を負う危険、また、商品の破損などの物的損害が発生する恐れがあります。

製品の仕様について

●設置現場で部材を組み立てる製品の特性上、多少の隙間（光が漏れる程度）が生じます。

●製品の構造上、完全な防水仕様ではありません。部材の隙間などから水が入る可能性があります。

●上記2点の問題により、ほこりや虫、ネズミ等の小動物が入り込んだり、粉雪が吹き込む場合がありますのでご注意ください。

●運搬等により塗装面に傷が付くことがあります。軽微な傷は補修塗料による対応となります。

安全にお使いいただくために



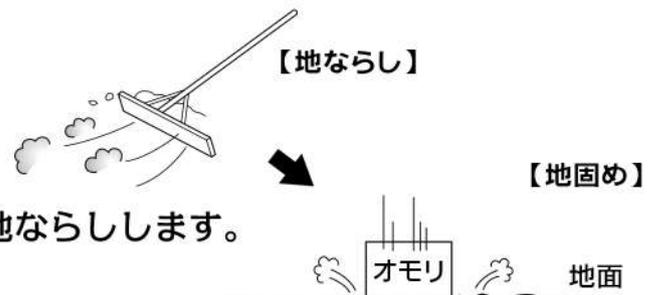
設置場所について

- 家屋の屋根から大量の雪や雨水が落ちる場所への設置は避けてください。破損や変形、雨漏りの原因となります。
- 屋上などの高所や崖の淵などの高低差のある場所への設置は避けてください。強風による転倒・落下の恐れがあります。
- マンションのペランダなど、避難通路を塞ぐような設置や手すり乗り越えによる子供の転落や物の落下の恐れがある場所への設置はしないでください。
- 強い腐食性ガスが当たる給湯器排気口付近への設置は避けてください。排気ガスが塗装を劣化させ、サビ・変色の原因となります。
- 木の下付近は落ち葉等で雨桶が詰まり、雨漏りや腐食の原因となることがあります。
- 芝生の上や整地・転圧がされていない場所は後日たてつけが悪くなる可能性があります。
- 隣地境界線付近。(雨水の排水・跳ね返り、落雪、日照の妨げ等に対する近隣への配慮が必要です)
- 地面が土等の場所は湿気の影響を受けやすく、結露・カビの発生原因となることがあります。
- 地面が凍結・凍上する場所は、扉のたてつけが悪くなる可能性があります。
- 薬品・融雪剤等の影響を受ける場所では、物置本体の変色や腐食の原因となることがあります。
- 塩害を受ける場所(海沿いの地域等)は、物置本体の腐食の原因となることがあります。定期的な水洗いを推奨します。
- 建物に隣接する時は、屋根の出幅・組立施工に必要な所定のスペースを確保してください。

！ 指示

組立施工上のご注意

- 組立前に、組み立てる場所を水平に地ならしします。また、同時に地固めを行ってください。



安全にお使いいただくために



注意

●手袋・長袖シャツ・作業服などの保護具を着用して組立作業を行ってください。万全を期していますが、部材の角や端部でケガをする恐れがあります。



●お客様が組み立てる場合や重量物(特に30kg以上)の運搬は、必ず2人以上で行ってください。ケガをしたり、腰を痛める恐れがあります。

●組立作業を中断し放置すると、部材が強風で飛散・転倒する恐れがあります。やむをえずその場を離れるときは、支え柱やロープなどで部材を固定してください。

●風の強い日は、施工を避けてください。部材が転倒して破損したり、飛ばされた部品でケガをする恐れもあります。

●転倒防止のために、所定の基礎工事を必ず行ってください。台風などの強風時に転倒し、重大なケガや収納物に損害を与える恐れがあります。

●組立完了後、ボルトのゆるみや金具類の付け忘れがないか、確認してください。正しく組み立てられていないと、所定の強度が確保できなくなります。



指示

使用上のご注意

●屋根の上に物をのせる・人がのる・ぶら下がる・他の建物から飛び乗るなどの行為はしないでください。転倒・落下などにより、ケガをしたり破損する恐れがあります。

●台風などの強風時は、扉が開いたり外れたりする可能性がありますので必ず施錠してください。収納物が飛ばされたり、破損・転倒する恐れがあります。

●無理にゆするなどの行為は避けてください。頑丈な柱構造ですが、扉のたてつけが悪くなったり、ケガをする恐れがあります。

●収納以外の目的(遊び場・住居の一部など)には絶対に使用しないでください。ケガなどの事故につながる可能性があります。

●屋根や壁面に物を立てかけないでください。強風で倒れたり飛ばされると、ケガをする危険があります。また、塗装にキズがつくと、サビの原因にもなります。

●直射日光により物置が熱くなる場合があります。やけどに注意してください。

●雨や雪等で濡れた靴や床は、滑りやすいのでご注意ください。

組み立てについて

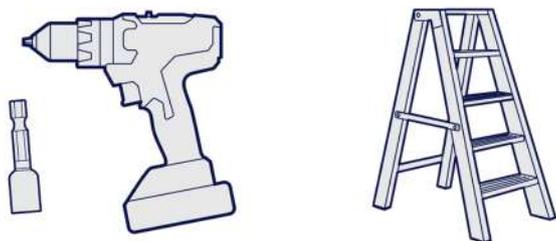
■一般的な手順

- ・組み立てが始まる前に、これらの指示を詳細に読んで、組み立ての方法と関連する詳細を完全に理解してください。
- ・カートンを開梱し、説明および図解されている部品と比較して、すべての部品を慎重に識別して確認します。

■サイトの準備

- ・小屋の場所は水平でなければなりません。表面が平らでないと、部品穴の位置がずれることがあります。
- ・小屋を適切に固定することをお勧めします。

■推奨ツール

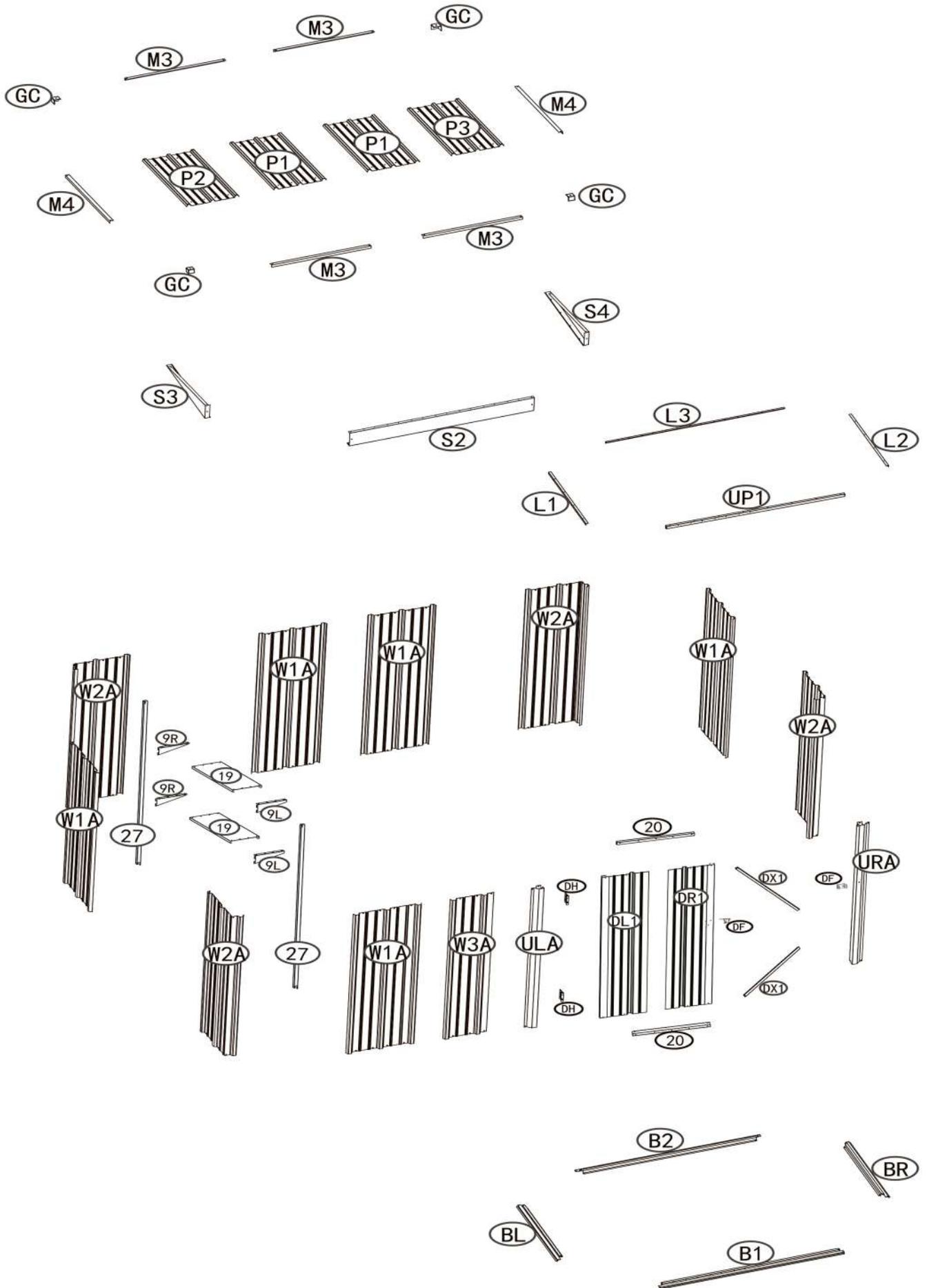


■安全上の注意

- ・一部の部品には鋭いエッジがある場合があります。これらのアイテムを扱うときは手袋を着用し、穴を開ける場合は安全メガネを着用することをお勧めします。安全靴をお勧めします。
- ・風の強い環境で小屋を建てないでください。小屋は、建設が完了した直後にしっかりとした基礎にしっかりと固定されていることを確認してください。
- ・2人以上で小屋を建てることをお勧めします。



分解図



梱包内容

PART	NO.	Qty.
	B1	1
	B2	1
	BL	1
	BR	1
	L1	1
	L2	1
	L3	1
	UP1	1
	M3	4
	M4	2
	W1A	5
	W2A	4
	W3A	1
	ULA	1
	URA	1
	20	2
	DL1	1
	DR1	1
	DF	1
	DX1	2
	DH	2
	DG	1

PART	NO.	Qty.
	S2	1
	S4	1
	S3	1
	P1	2
	P2	1
	P3	1
	9R	2
	9L	2
	19	2
	27	2
	GC	4
	F1	161
	F2	24
	F3	16
	V2	143
	S1	122

1.すべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。

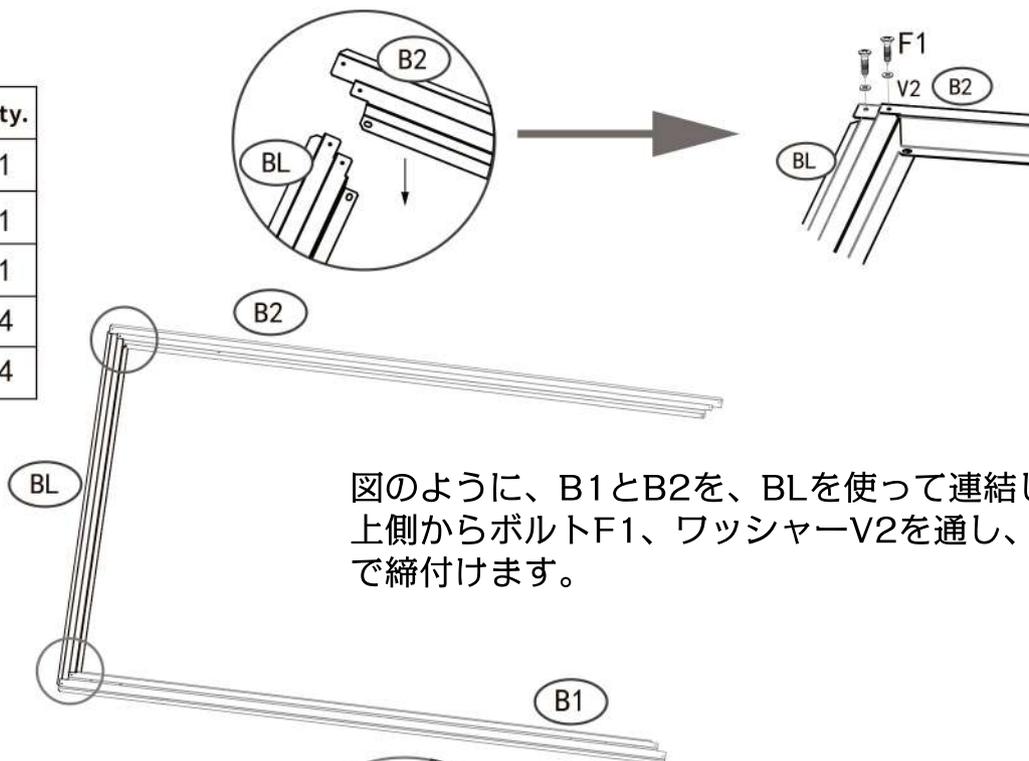
2.不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP 1

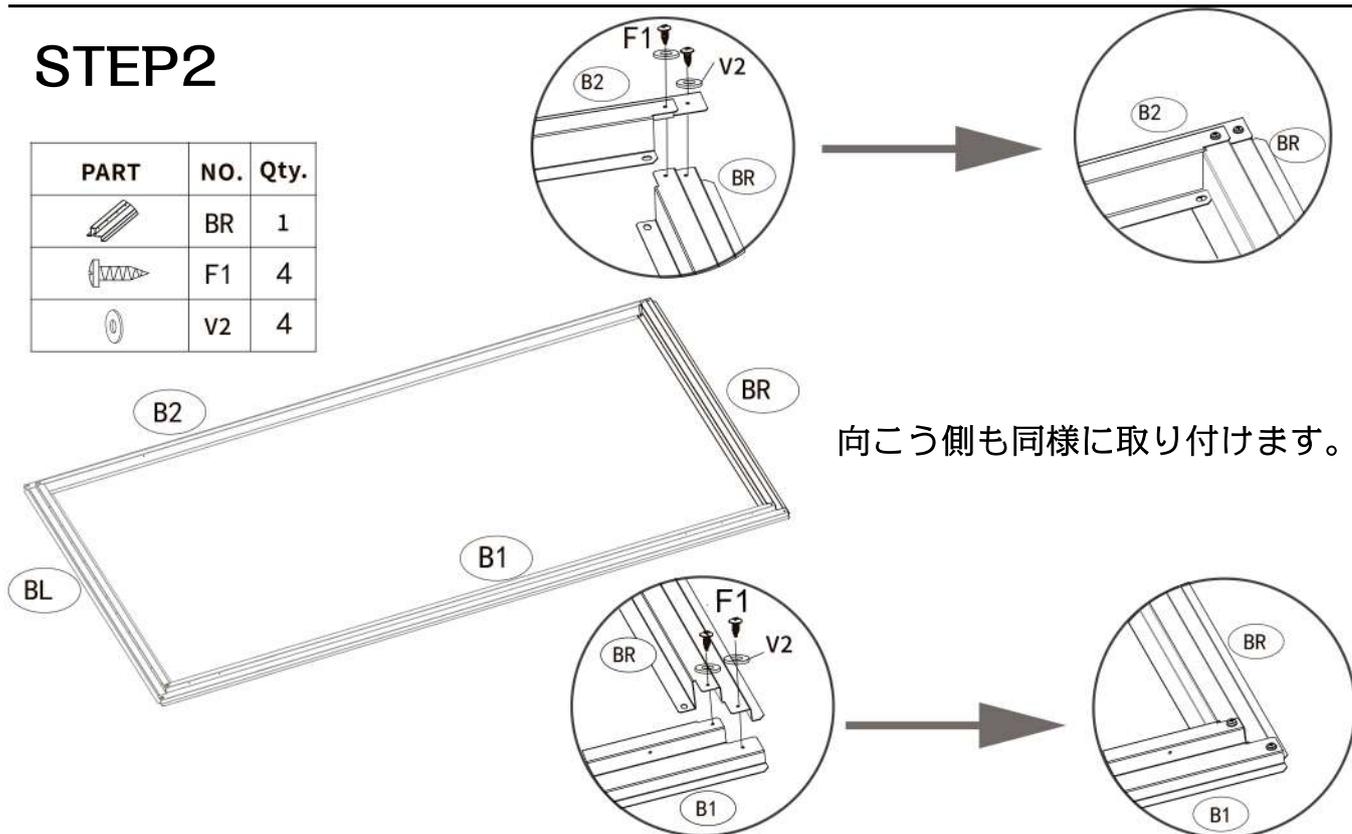
PART	NO.	Qty.
	B1	1
	B2	1
	BL	1
	F1	4
	V2	4



図のように、B1とB2を、BLを使って連結します。上側からボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。

STEP 2

PART	NO.	Qty.
	BR	1
	F1	4
	V2	4



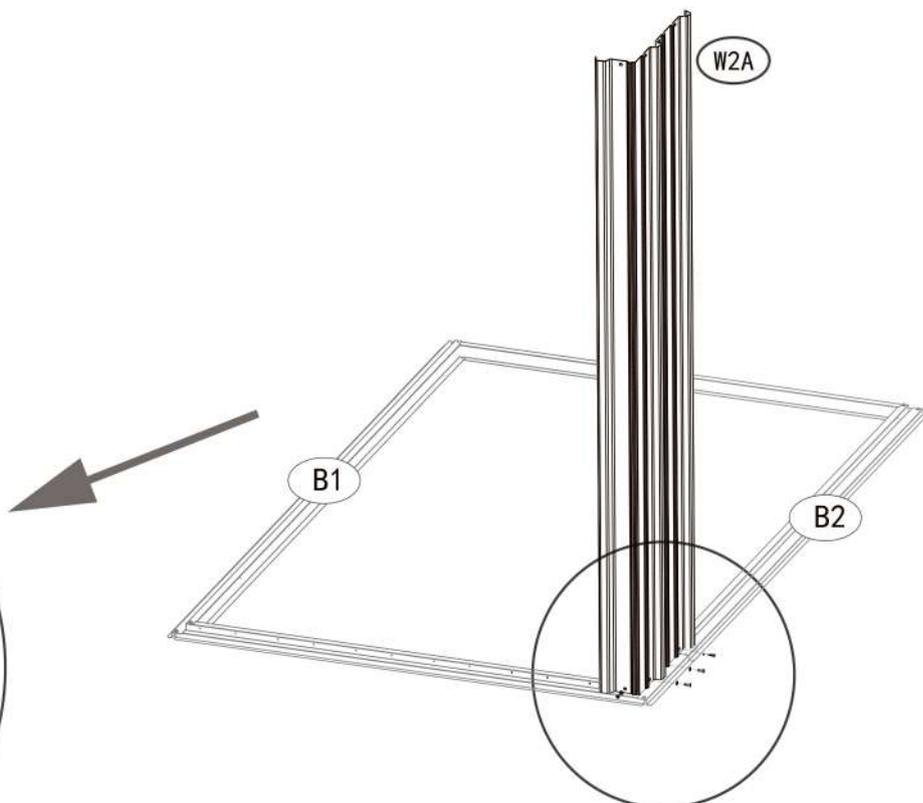
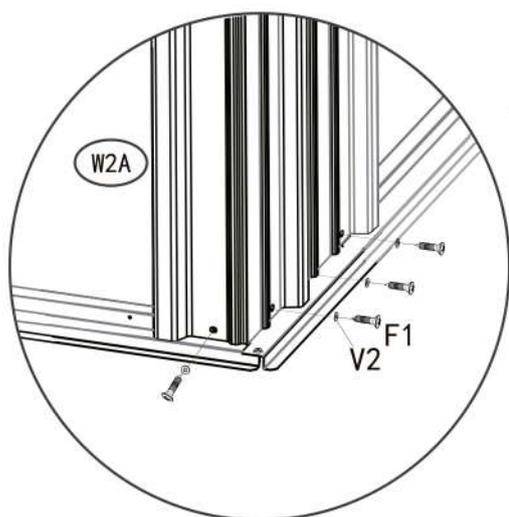
向こう側も同様に取り付けます。

組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP3

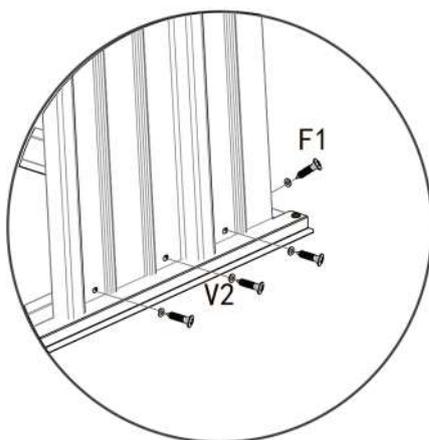
PART	NO.	Qty.
	W2A	1
	F1	4
	V2	4



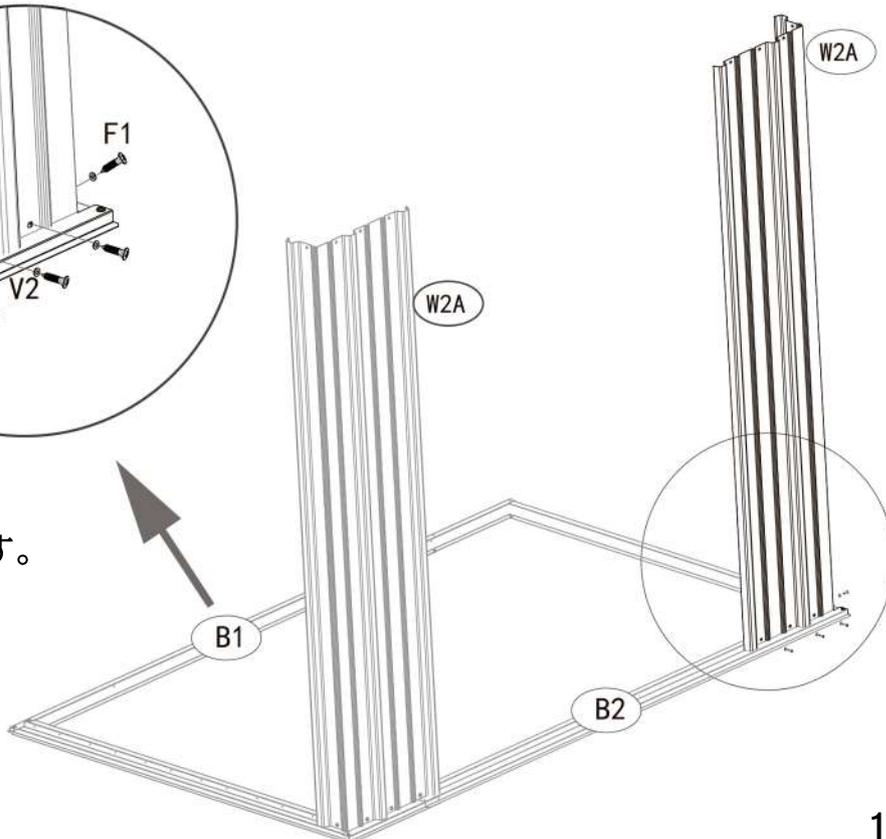
ベースにW2Aを乗せ、穴の位置を合わせます。
ボルトF1、ワッシャーV2を通し、
スパナで締付けます。

STEP4

PART	NO.	Qty.
	W2A	1
	F1	4
	V2	4



向こう側も同様に取り付けます。



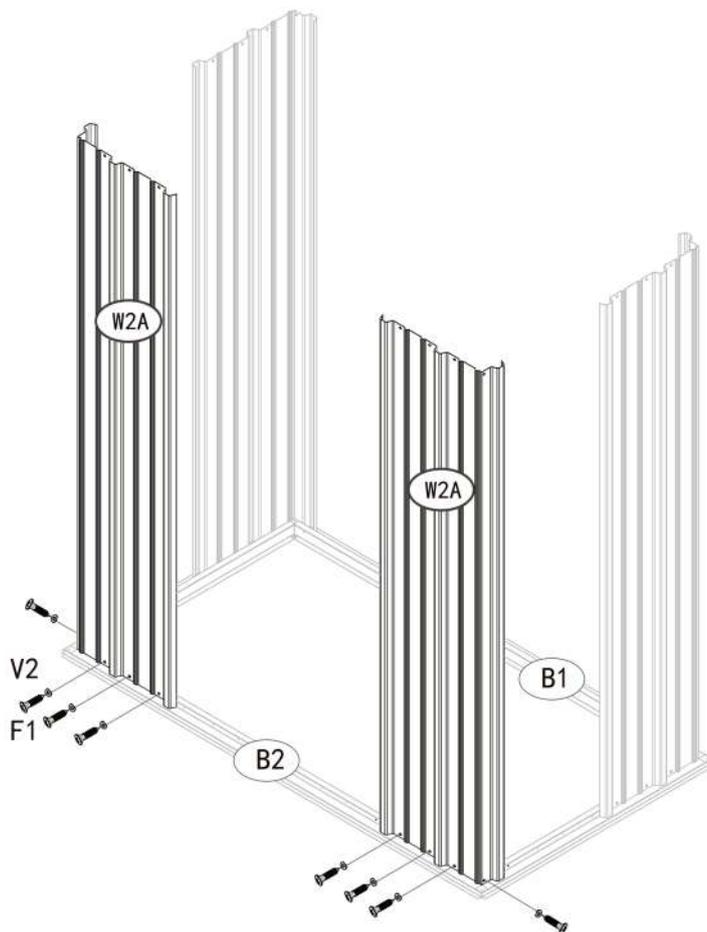
組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP5

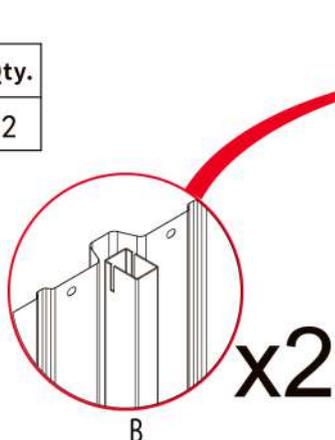
PART	NO.	Qty.
	W2A	2
	F1	8
	V2	8

図のように、ベースにW2Aを乗せ、穴の位置を合わせます。
ボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。

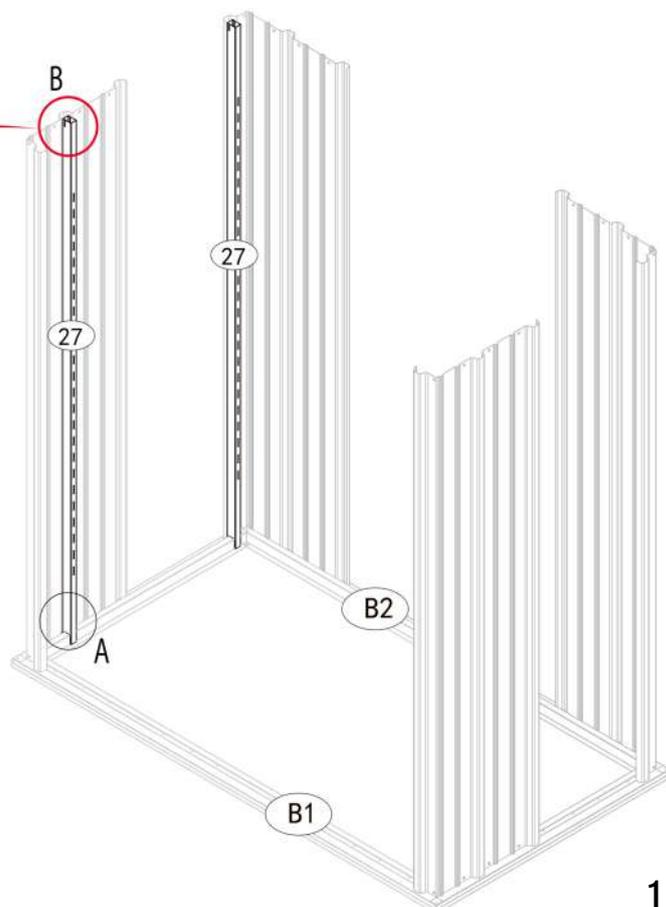
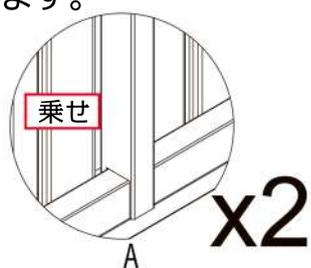


STEP6

NO.	PART	Qty.
27		2



図のように、ベースに27を乗せ、穴の位置を合わせます。



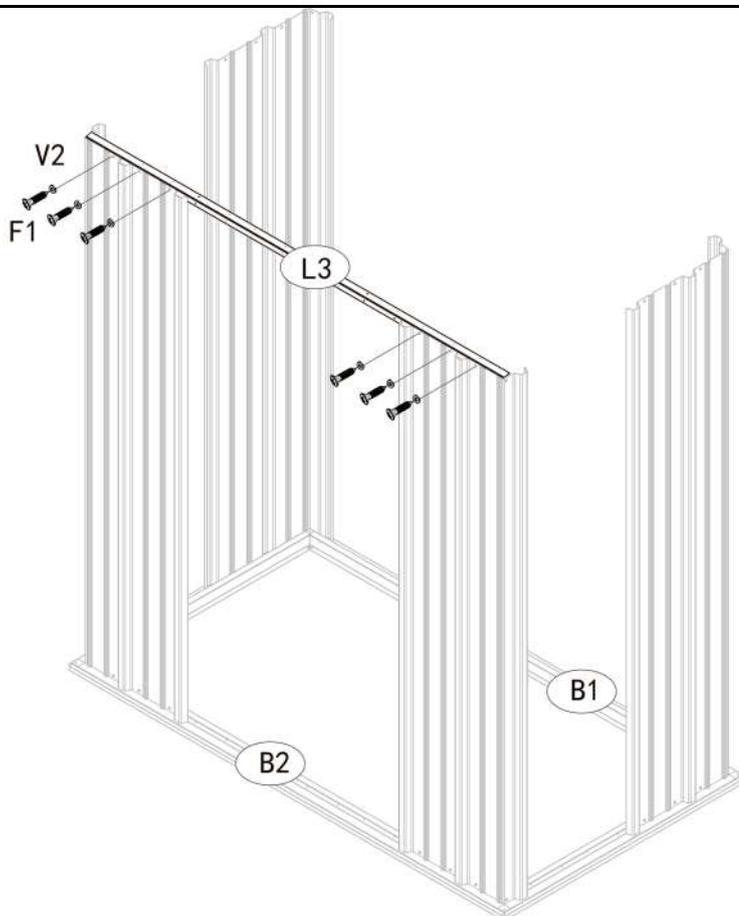
組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP7

PART	NO.	Qty.
	L3	1
	F1	6
	V2	6

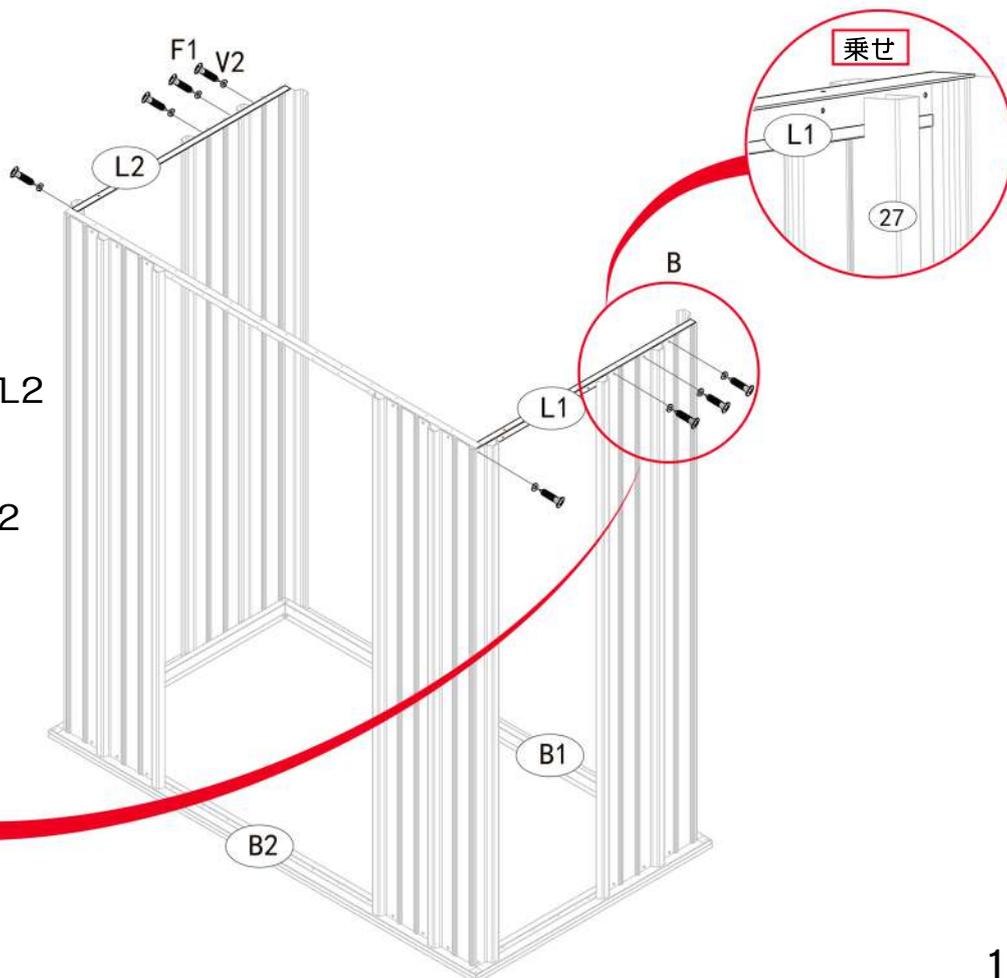
図のように、W2AにL3を乗せ、穴の位置を合わせます。
ボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。



STEP8

NO.	PART	Qty.
L1		1
L2		1
F1		8
V2		8

図のように、W2AにL1/L2を乗せ、穴の位置を合わせます。
ボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。

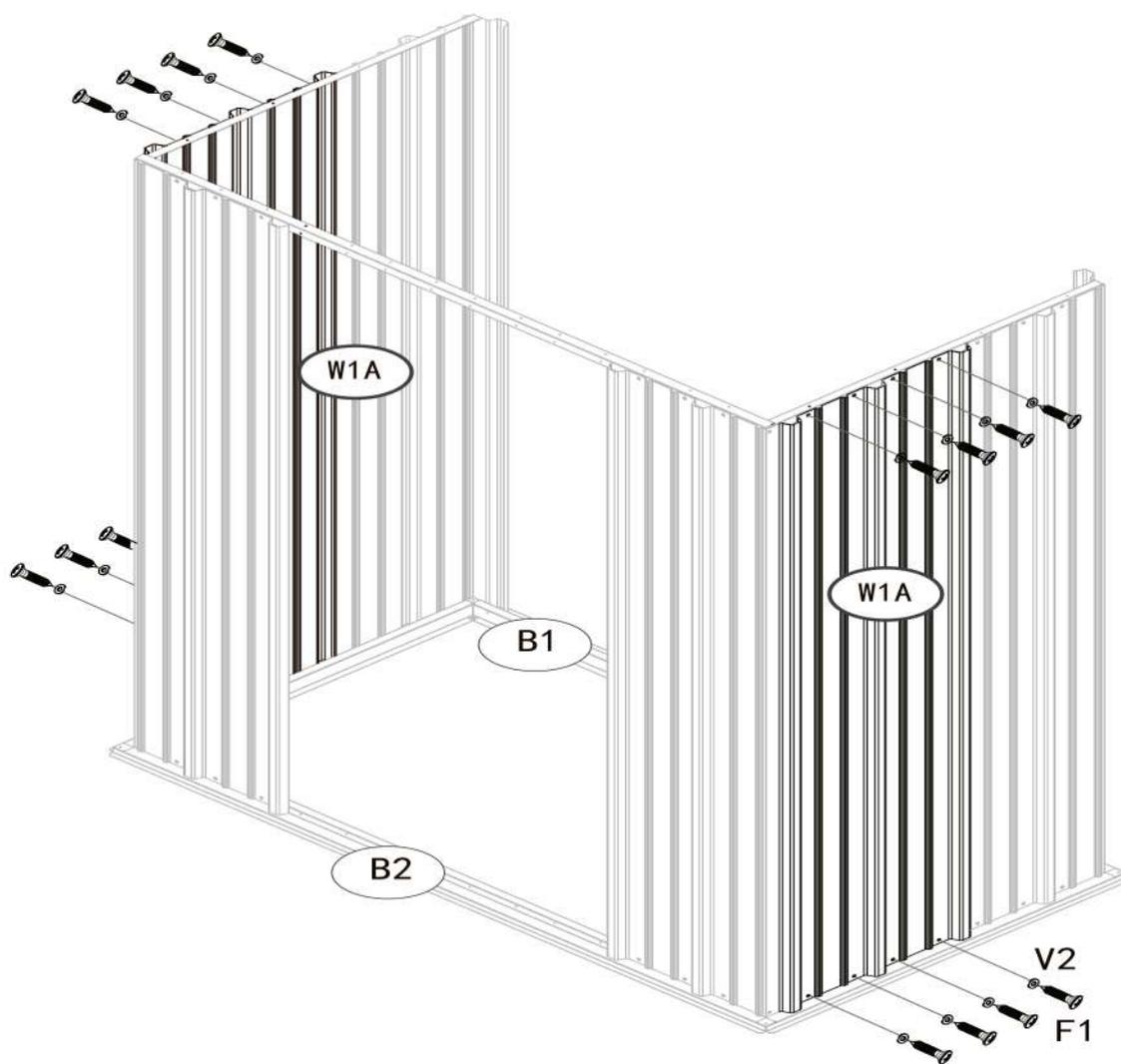


組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP9

PART	NO.	Qty.
	W1A	2
	F1	16
	V2	16



図のように、ベースにW1Aを乗せ、穴の位置を合わせます。
ボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。

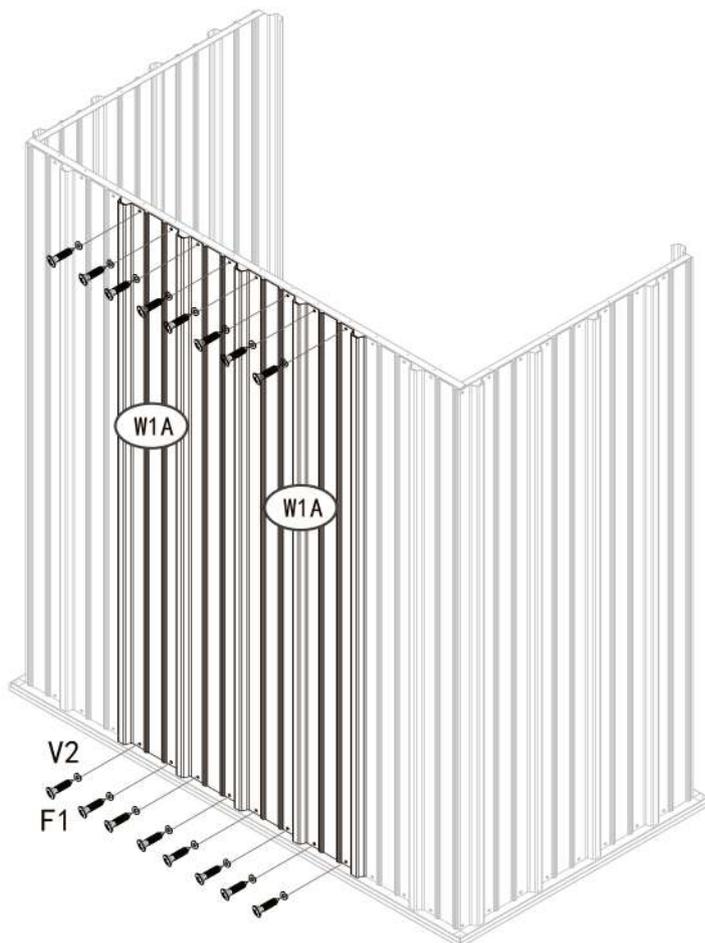
組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP 10

PART	NO.	Qty.
	W1A	2
	F1	16
	V2	16

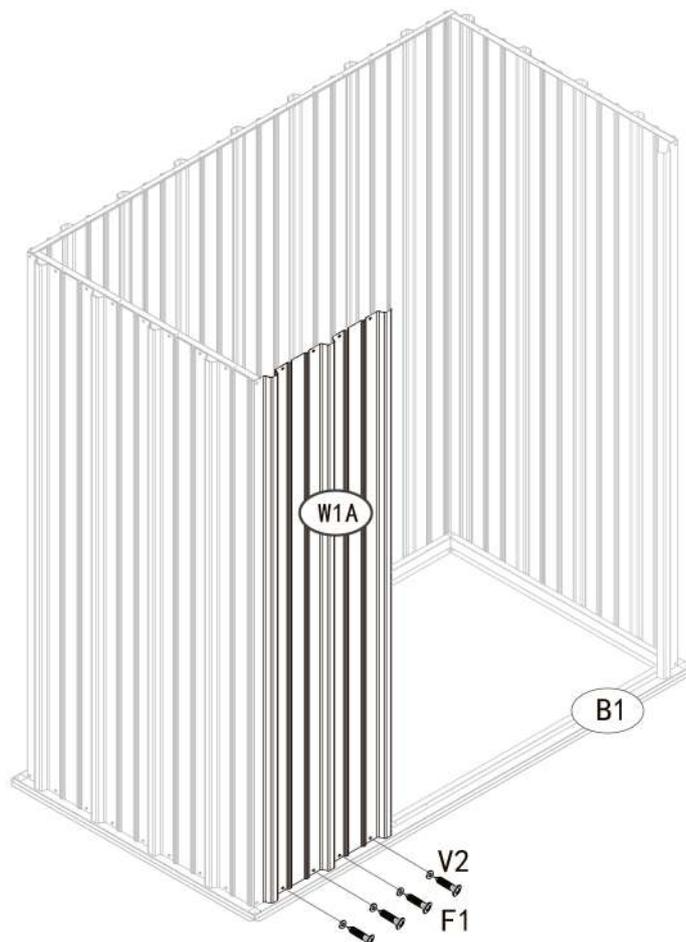
図のように、ベースにW 1 Aを乗せ、穴の位置を合わせます。
ボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。



STEP 11

PART	NO.	Qty.
	W1A	1
	F1	4
	V2	4

図のように、ベースにW 1 Aを乗せ、穴の位置を合わせます。
ボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。



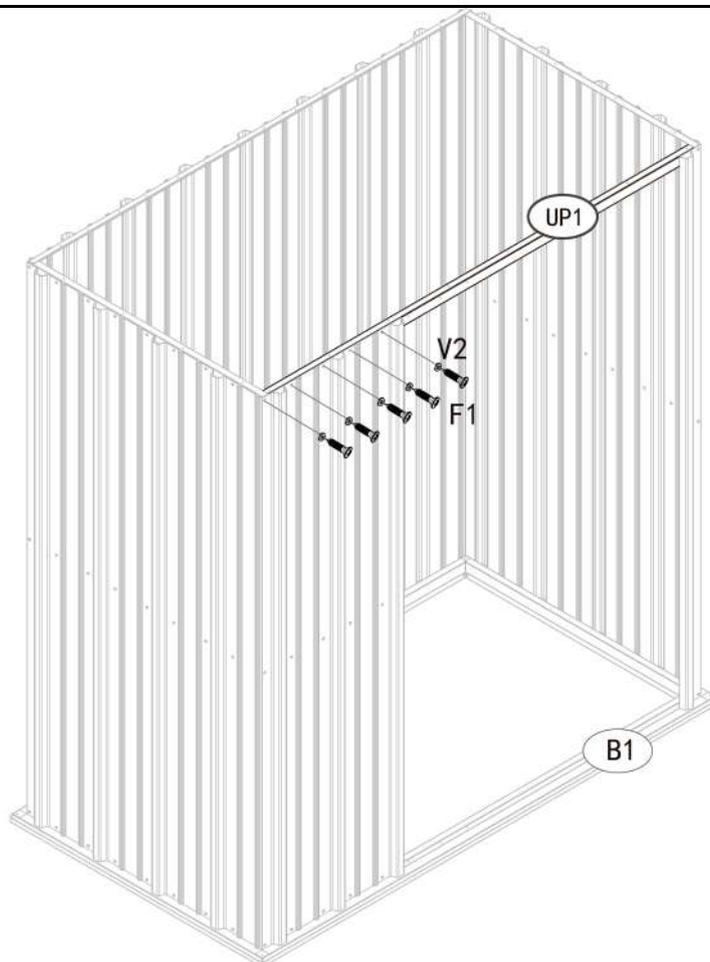
組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP 12

PART	NO.	Qty.
	UP1	1
	F1	5
	V2	5

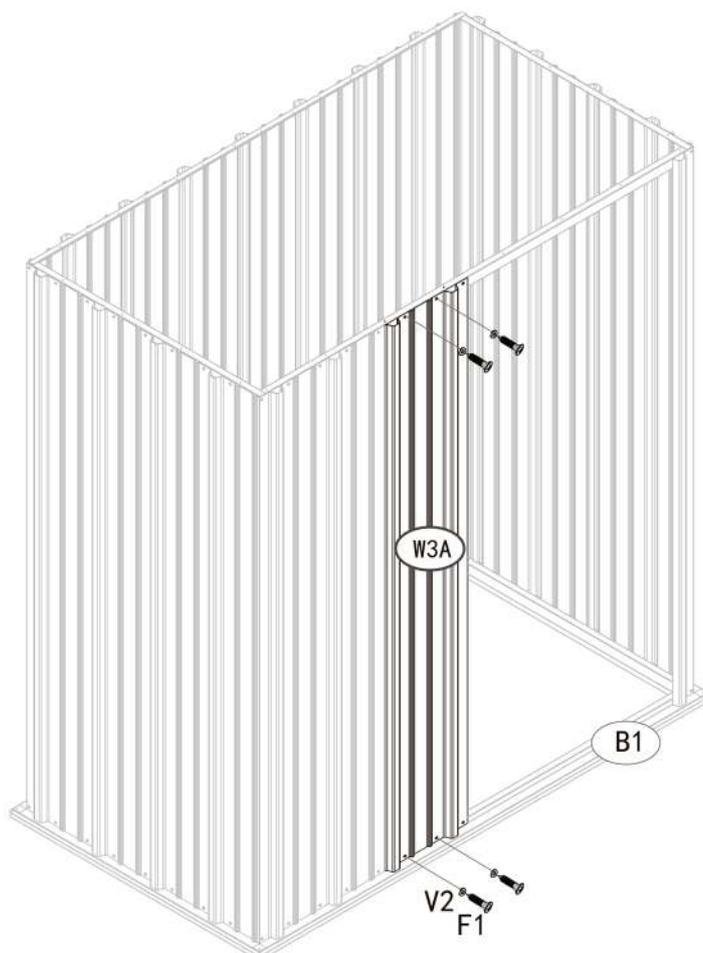
図のように、W1AにUP1を乗せ、穴の位置を合わせます。ボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。



STEP 13

PART	NO.	Qty.
	W3A	1
	F1	4
	V2	4

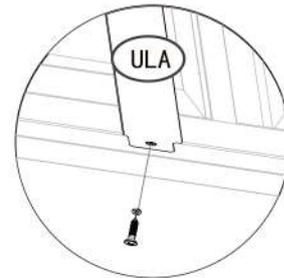
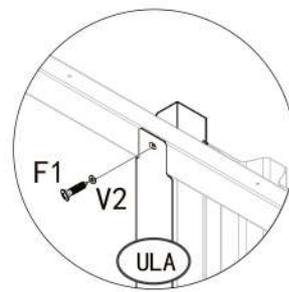
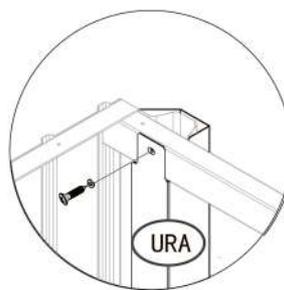
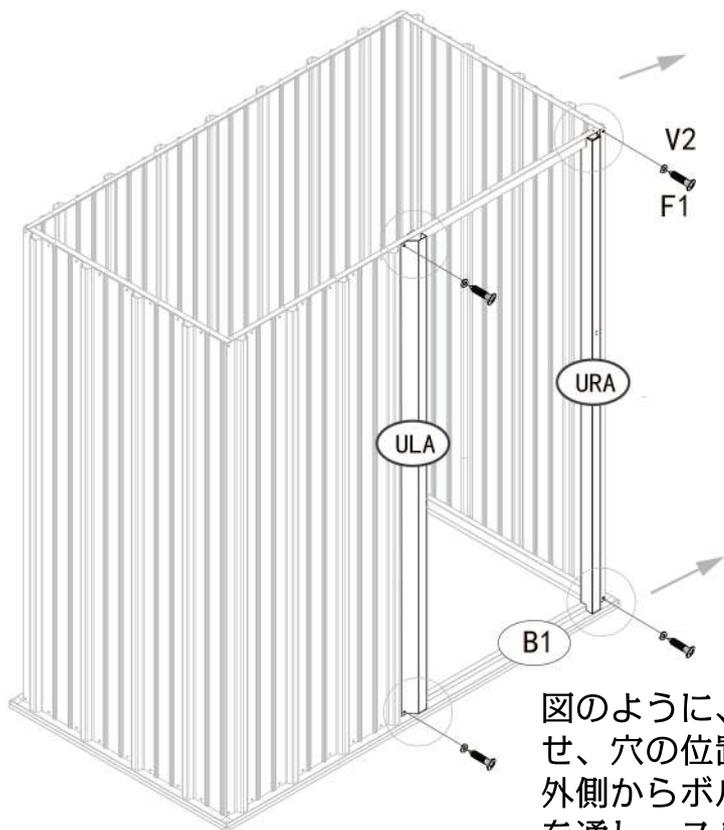
図のように、B1にW3Aを乗せ、穴の位置を合わせます。ボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。



組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP 14



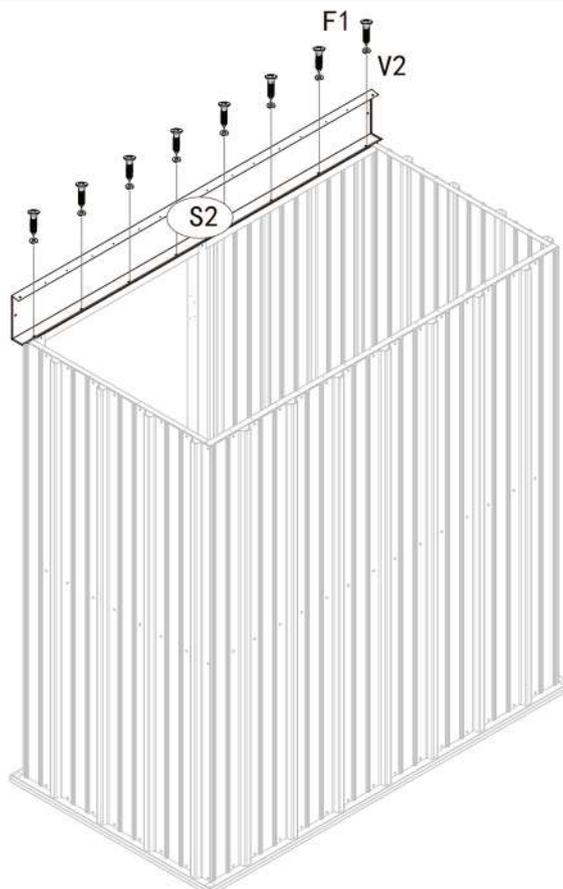
図のように、B1にULAとURAを乗せ、穴の位置を合わせます。
外側からボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。
内側からボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。

PART	NO.	Qty.
	URA	1
	ULA	1
	F1	8
	V2	8

STEP 15

PART	NO.	Qty.
	S2	1
	F1	8
	V2	8

図のように、UP1にS2を乗せ、穴の位置を合わせます。
上からボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。

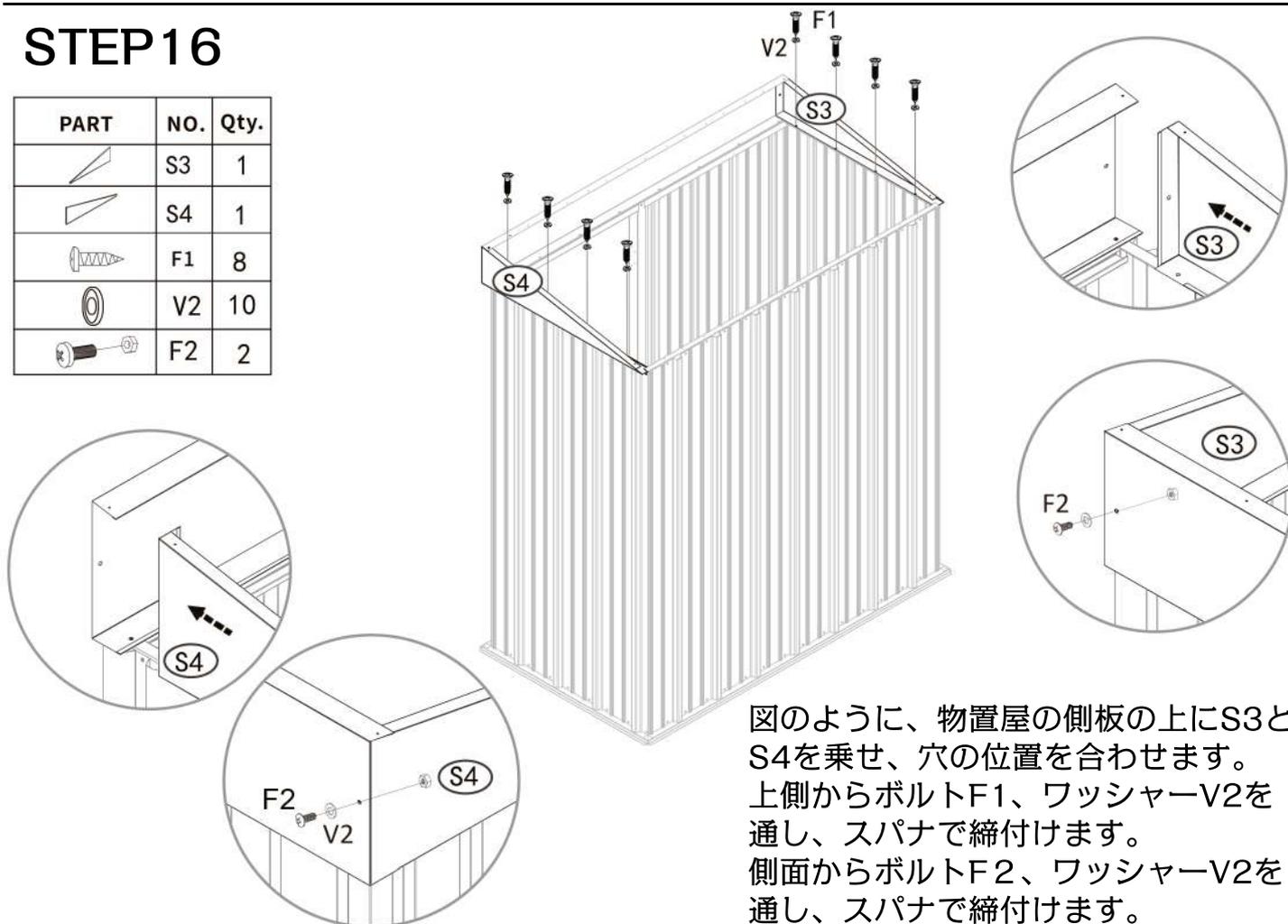


組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

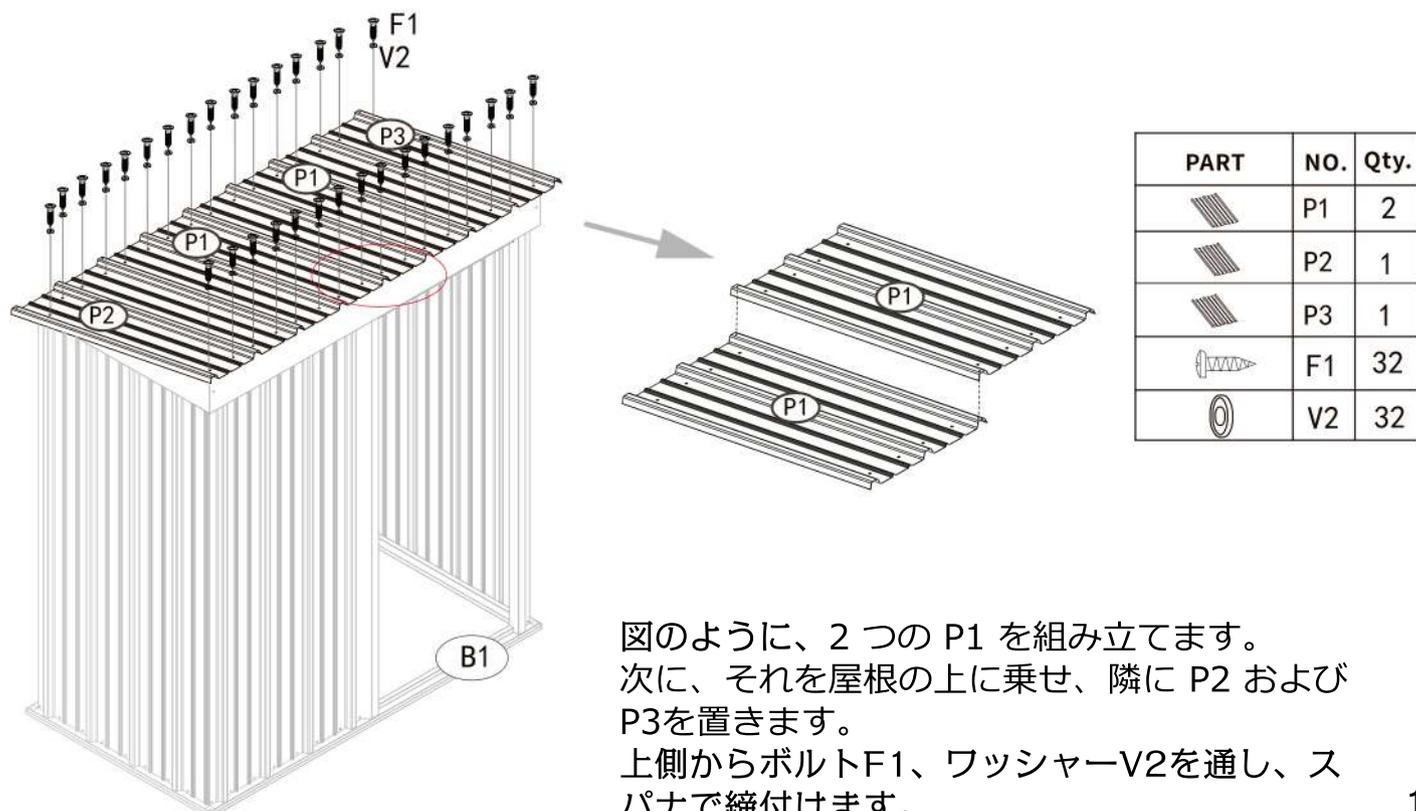
STEP 16

PART	NO.	Qty.
	S3	1
	S4	1
	F1	8
	V2	10
	F2	2



図のように、物置屋の側板の上にS3とS4を乗せ、穴の位置を合わせます。上側からボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。側面からボルトF2、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。

STEP 17



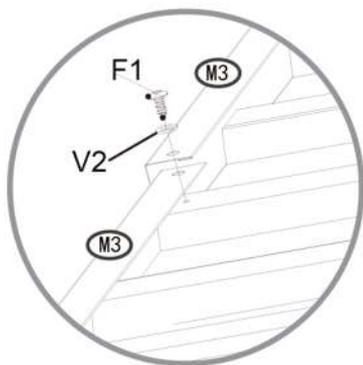
図のように、2つのP1を組み立てます。次に、それを屋根の上に乗せ、隣にP2およびP3を置きます。上側からボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。

組立方法

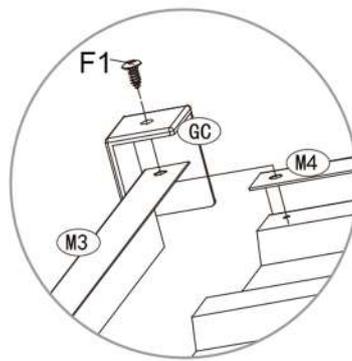
※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP 18

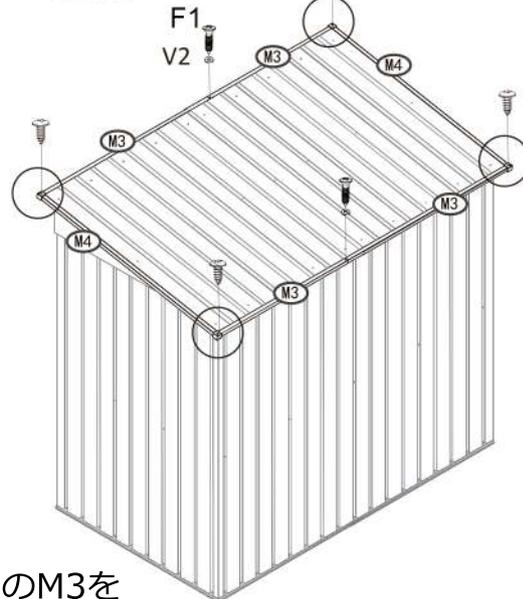
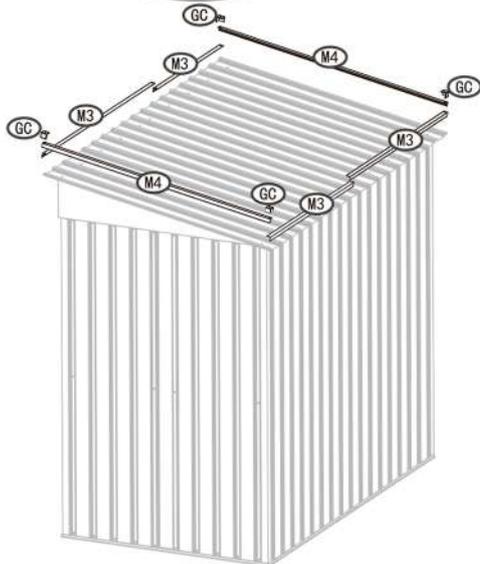
PART	NO.	Qty.
	M3	4
	M4	2
	GC	4
	F1	6
	V2	2



x2



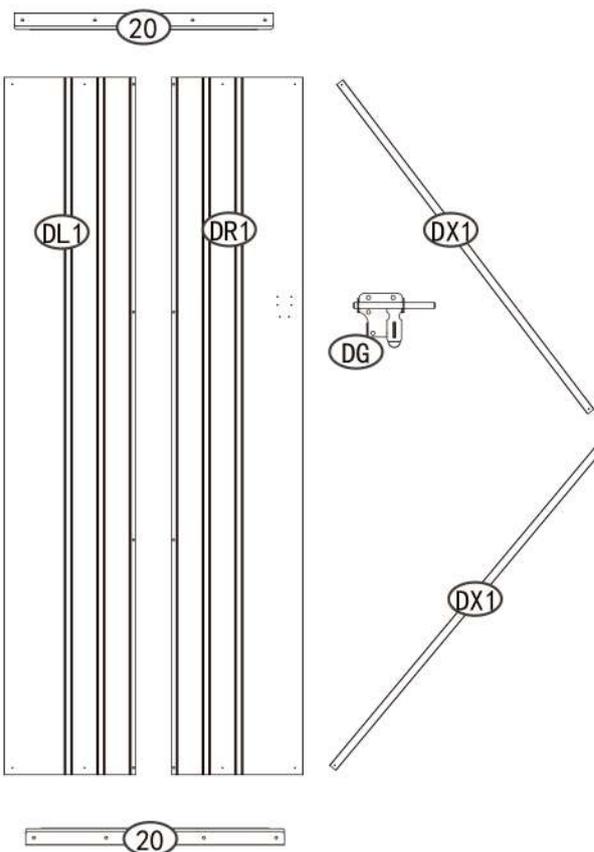
x4



図のように、M4を屋根の側面に乗せ、屋根の前後に二つのM3を乗せます。上側からボルトF1、ワッシャーV2を通し、スパナで締付けます。四隅にGCを乗せ、上側からボルトF1を通し、スパナで締付けます。

STEP 19

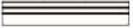
パーツを右図のように配置します。



組立方法

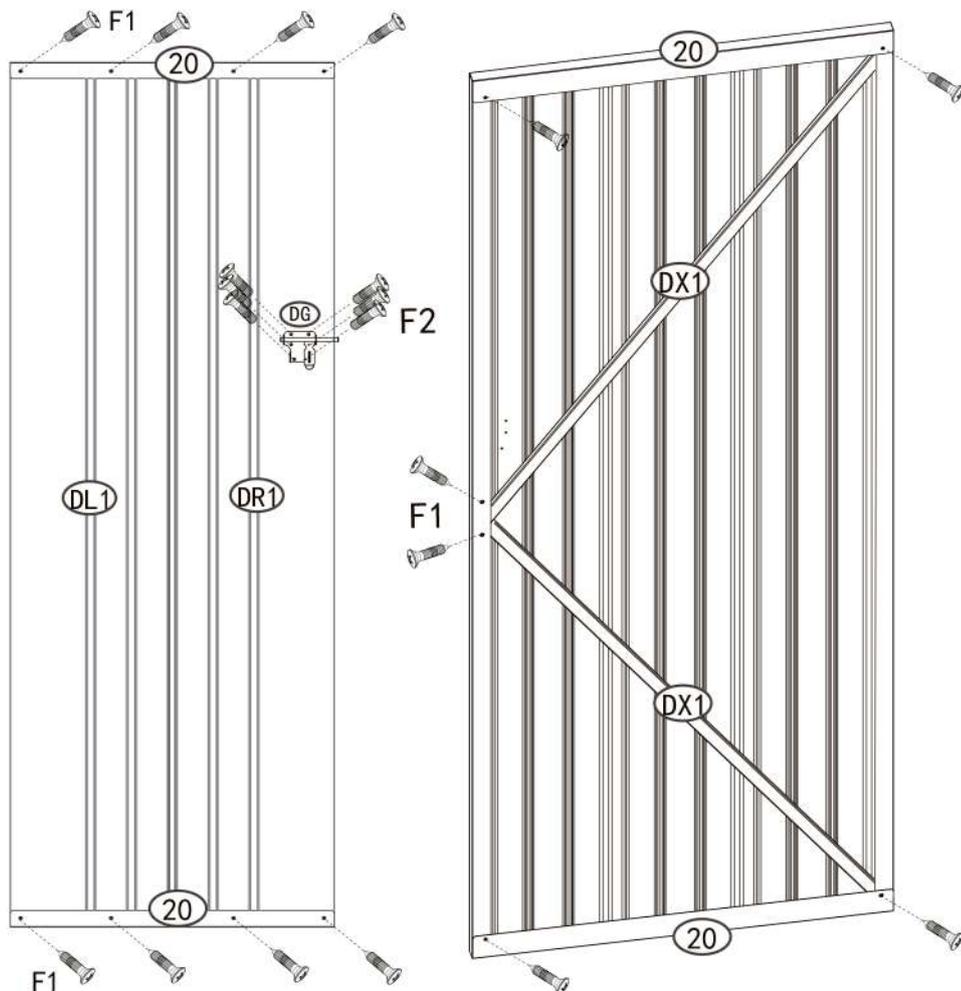
※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP20

PART	NO.	Qty.
	DX1	2
	20	2
	DL1	1
	DR1	1
	DG	1
	F1	14
	F2	6

図のように、20にDL1とDR1を乗せ、ボルトF1を通し、スパナで締付けます。DGをDR1に乗せ、ボルトF2で締付けます。

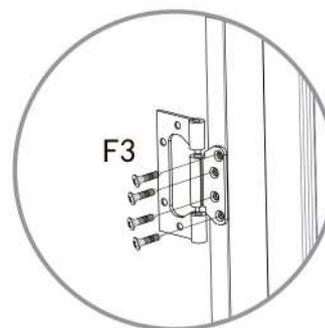
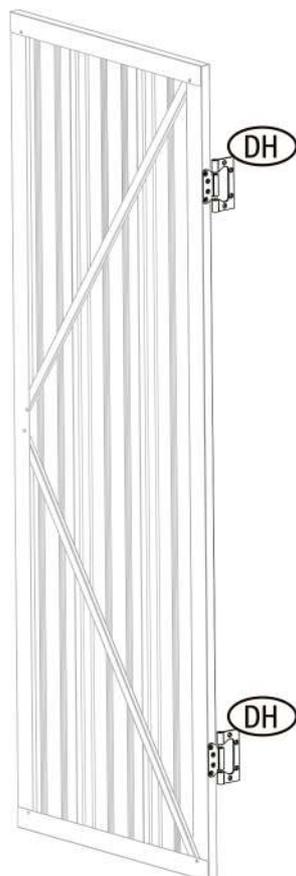
DL1とDR1の背面にDX1を乗せ、ボルトF1で締付けます。



STEP21

PART	NO.	Qty.
	DH	2
	F3	8

図のように、ドアの側面にDHを乗せ、ボルトF3を通し、スパナで締付けます。



X2

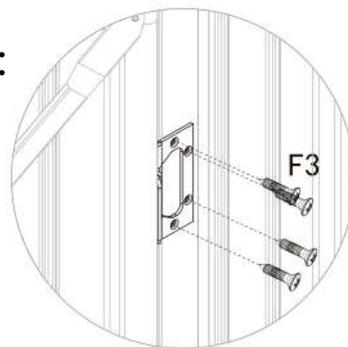
組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP22

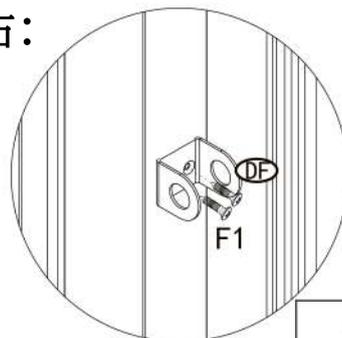


左：



X2

右：



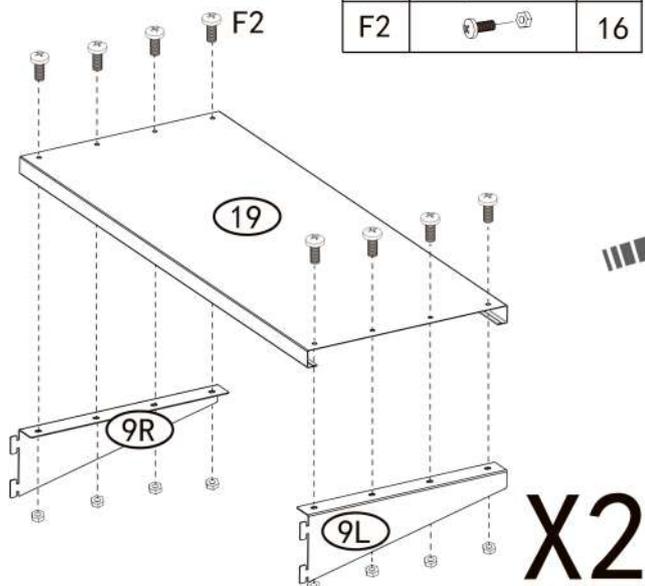
PART	NO.	Qty.
	DF	1
	F3	8
	F1	2

図のように、ドアを物置屋の左に乗せ、ボルトF3を通し、スパナで締付けます。

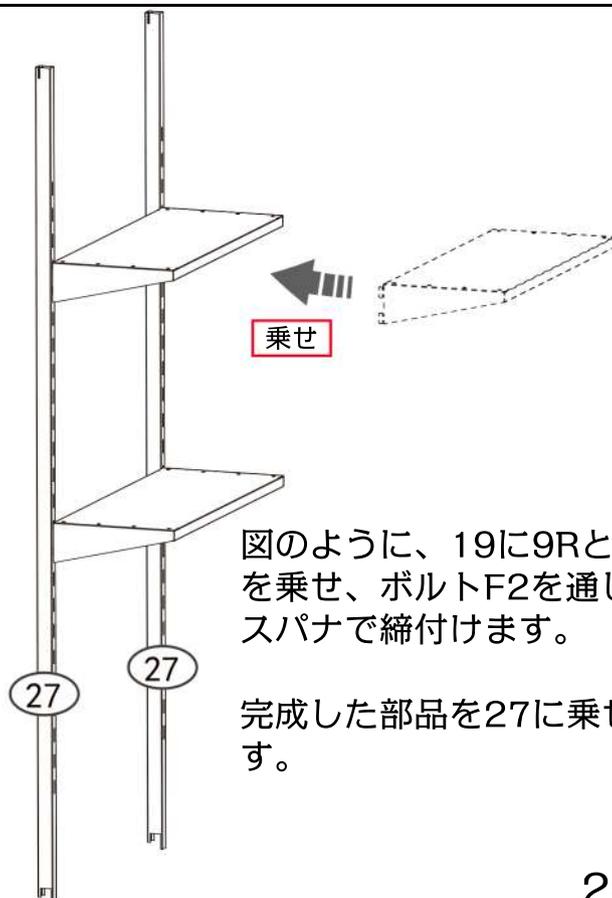
物置屋の右にDFを乗せ、ボルトF1を通し、スパナで締付けます。

STEP23

NO.	PART	Qty.
19		2
9L		2
9R		2
F2		16



X2



図のように、19に9Rと9Lを乗せ、ボルトF2を通し、スパナで締付けます。

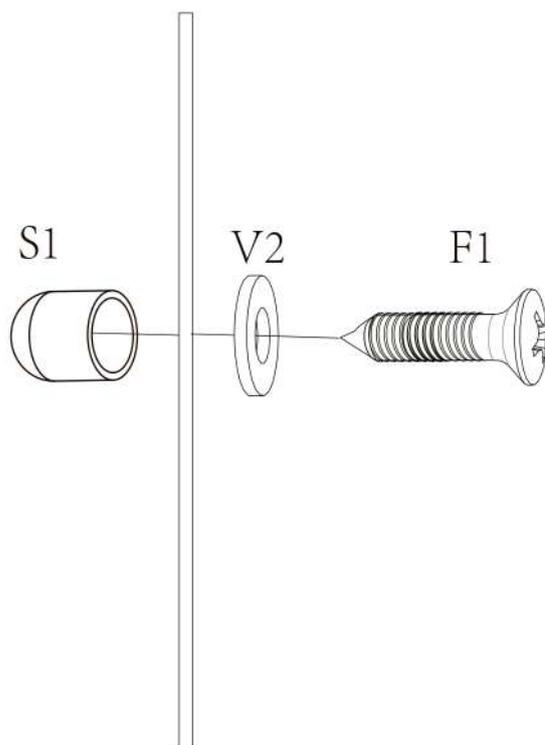
完成した部品を27に乗せます。

組立方法

※組立ては2名以上で行ってください。※パイプの向きを
区別するために、例図の穴の位置に注意してください。

STEP24

PART	NO.	Qty.
	S1	122



取り付けられているすべてのボルトF1を S1でカバーします。

STEP25

完成。



保証規定

※弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
※そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
※また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。
本規約は、弊社を經由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。
弊社商品には商品保証書等は同相しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。
返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1.保証の期間

商品発送日から1年間といたします。
保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。
発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2.保証の適用

お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

4.注意事項

部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合がございます。
保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

3.保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、電、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、鑄、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13)使用することで消耗する部品または劣化する部品
- (14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)